

◎シリーズ 長岡京歴史散歩

(143)

長七小学校校区の遺跡3

↳ 条坊側溝から出土した獣骨

1989(平成元)年8月・9月にかけて、野添二丁目で行われた発掘調査では、長岡京時代の四条条間北小路や建物などが見つかりました。四条条間北小路は幅が約9m東西道路で、長岡第七小学校の南側から真っ直ぐに東西へ延びていました。道路の両側には排水用の側溝が設けられていますが、この側溝からは当時使われていた物がまとまって出土しています。

なかでも注目されるのは、馬と考えられる大型動物の骨が出土したことです。骨は溝内の敷物所から出土しましたが、胴体部分は藁で作られた敷物の上に置かれ、さらに骨の上にも藁が掛けられていました。当時、馬は雨や水を司る生き物と考えられており、祭祀場では土製の馬のミニチュアがたくさん出土しています。馬の骨が道路側溝という水と関連深い遺構から出土したことから、この場所でも祭祀が行われた可能性があります。

(財)長岡京市埋蔵文化財センター



● 調査地の場所と条坊道路(平成14年撮影)



▲ 側溝の獣骨出土状況(南から)



▲ 四条条間北小路の南側溝(東から)

黄色の範囲が当時の路面